

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表
 太平児童センター 事業評価表

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・エンゼルクラブ ・ベビークラブ (さくら・たんぽぽ)	前・後期 6回 (エンゼルは後期のみ)	10	13	28	460	0	0	385	845	・参加者の分散化を防ぐため、エンゼルクラブを後期からの立ち上げとした。年齢を細分化したことで、発達に合った内容となり、クラブ全体が充実した。ベビークラブでは担当職員の得意分野である音楽活動を全面に打ち出し、0歳児クラブの特色とした。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ (あか・あお)	前・後期 8回	10		31	472	0	0	411	883	・絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど「聞く力」を養う活動を多く取り入れた。読み聞かせの積み重ねにより、年度末には、マットを敷くだけで子ども自身で座り、読み聞かせを楽しむようになった。継続した支援は、子どもの成長に不可欠だと痛感した。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	前・後期 8回	10		32	539	0	0	383	922	・2歳児のクラブでは、子どもの支援を職員間で共通意識をもって取り組んだ。参加者のアンケートでも「一人ひとりに合った対応をしてもらい嬉しかった。」とあり、職員の対応や、取り組みが参加者の評価につながった。
	小 計					91	1471	0	0	1179	2650	
	2	④ 乳幼児クラブ 自主事業 ・幼児あそぼう会 ・たまぴよサロン ・おはなしなあに ・幼児トランポリン ・幼児水あそび	各月1回		13	46	591	0	0	492	1083	・「幼児あそぼう会」では、すべて職員手作りの、人形劇、製作、ゲーム、プレゼント渡しと、豊富な内容を企画した。参加人数は、利用者の口コミで月を追う毎に増加した。参加者が「とてもおもしろかった。よかった。」など言葉で返してくれた。とても利用者満足度の高い事業となり、29年度も継続していく予定である。
小 計					46	591	0	0	492	1083		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
	①	一輪車クラブ	各月2回程度	6	13	21	0	478	0	0	478	<p>・すべてのクラブで低学年の参加が増加した。それにより、高学年が自覚をもって取り組む姿が目立った。また、低学年の元気な声に触発され、高学年も大きな声を出し、双方に良い影響があり、活発的なクラブ活動を年間を通して行うことができた。</p> <p>一輪車クラブでは、3月のおまつりで演技を披露した際、観客が涙をする姿があった。継続した努力、一生懸命さが伝わったからこそだと感じる。</p> <p>子どもスタッフは、デイサービスに訪問し、ハンドベルや朗読をした。デイ利用者を前に堂々とした姿はとても立派であり、人前に入る勇気や終わった後の達成感を十分に感じた。</p> <p>卓球クラブは、自分が上達していく充実感を肌で感じとった。「もっと上手になりたい」という向上心が大きく育った。また、それが瞬間的なものでなく、1年を通して持続したことが大きな成果である。</p>
		子どもスタッフクラブ		6		22	0	292	0	0	292	
		卓球クラブ		6		18	0	163	0	3	166	
	②	ボランティア活動	月1回程度		10	2	40	0	2	44	<p>・数人に依頼したボランティアが多くの来館者を巻きこんだ。子ども自らが友達に働きかける姿もあった。また、乳幼児親子対象の事業準備のボランティアを依頼することで事業の裏側を体験し、1つの事業を作り上げる苦労、工夫を感じとったようだ。</p>	
	小計					71	2	973	0	5	980	
2	③ 児童 自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪車クラブ交流会 ・子どもスタッフまつり ・トランポリン ・季節行事(デイキャンプなど) ・チャレンジ番付 ・福祉体験 	月3回程度		13	40	108	690	8	202	1008	<p>・「デイキャンプ」を総合福祉センターにて実施した。屋上での水遊びでは、普段立ち入ることのできない場所での活動に子どもたちはワクワクしていた。また、キャンプの中で福祉に関する学習をしたことで、福祉に関心を持つきっかけづくりとなった。</p>

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・ 中高生サマーフェスティバル ・ 太平児童センター& 中高生スペースまつり	年2回	1	13	2	77	87	14	102	280	・3月の児童センターまつりでは、初めて主任児童委員の協力を得て実施した。地域との連携の中でおまつりを実施できたことは、28年度の非常に大きな成果である。また、民生児童委員長、小学校長へ招待状を出した。当日は残念ながら参加してもらえなかったが、地域に発信し続け、地域の協力を促していきたい。
		② 移動児童館 ・ 池田町屋公民館まつり(夏・秋) ・ ザリガニ釣り大会	年5回			5	264	425	0	301	990	・移動児童館の際に、地域の方に声をかけてもらうことが多くなった。地域の方にとって児童センターが行なっていることが不透明だった部分が透明化し、認められる部分が増えた。ザリガニ釣り大会では、主催者が児童センター企画の「ザリガニ缶バッチ作り」を見て「これはすごい！」と感心され、29年度の期待へとつながった。
	小 計					7	341	512	14	403	1270	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・ 太平公園であそぼう ・ 地球村デイキャンプ ・ プレゼントづくり ・ お楽しみ工作 ・ デイサービス合同事業(新春お茶会など)	月2~4回程度		13	49	425	515	21	840	1801	・複合施設の利点を生かし、年間を通じてデイサービス、老人センター、母子・父子センターの利用者と交流を図った。「夏祭り」「お正月あそび」「節分会」などの交流の中で、子どもたちが老人へ働きかけをし、リードしていく姿もあった。ただセンター同士の交流だけでなく、参加者が1対1で関わるように配慮をした。
	小 計					49	425	515	21	840	1801	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア	年5回程度	3	13	7	0	0	16	0	16	・「科学工作」などの小学生対象事業を中心にボランティアを実施した。参加者の補助を依頼することが多かったが、全体の様子を見て考えて行動した。自身の気づきを行動に移し、太平児童センターの事業に大きく貢献した。
		② 中高生スペース ・ おまつり運営スタッフ ・ バレンタインチョコ作り ・ カードゲーム対決	年6回			7	0	0	35	0	35	・「公民館まつり」など、中高生スペースが主体となって実施した事業に、運営スタッフとして携わった。中高生の自由な発想がおまつりのゲームをより面白いものとした。また、参加者へのユーモア溢れる対応が事業をより一層盛り上げた。
	小 計					14	0	0	51	0	51	
	2	③ 中高生自主事業 ・ 小学生とあそぼう ・ 乳幼児とのふれあい体験 ・ バドミントン対決 ・ 卓球大会	月1~2回程度		14	27	0	0	88	0	88	・中高生の中にも同級生との繋がり、関係づくりが難しい子どもがいる。そのような子どもの居場所づくりとして「小学生とあそぼう」を週に1回程度設定した。普段遊戯室で遊べないため、当日は周囲を気にすることなく、安心して遊んでいる。
	小 計					27	0	0	88	0	88	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価 H28年度	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
							乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業	月1回	12	13	12	14	0	0	12	26	・月に1回相談日を設定しているが、相談を目的とした来館者は少数だった。年間相談は69件であり、中でも園・学校についての相談が一番多かった。園・学校に関する相談では、早急に関係機関に連絡をとり、連携を図った。相談窓口としての役割を随時担った。
		② 講習・講演・他連携 ・募金配分金事業 「親子で楽しむ ふれあい歌あそび」 「kajiiとあそぼう」 ・保育園交流事業	年2～4回程度	2		4	166	0	0	12	26	・募金の配分金事業を講演会と位置づけ実施した。講演会の中で募金の意義を参加者に示した。親子で楽しめる企画をし、市内中から参加者があり、盛大になった。
		② 母親クラブ ・ママクラブ (母親クラブ支援事業)	月1回程度			10	121	17	0	165	348	・27年度までのママクラブでは、定着したメンバーがいなかったが、28年度はメンバーも定着し、新しい参加者も増えた。母親クラブ設立に向けて前向きに活動してきたが、就園を控えている等の関係で設立には至らなかった。
	小 計					14	301	17	0	189	400	
	2	③ 子育て 自主事業 ・なないろひろば	月1回程度		13	9	57	0	0	89	210	・月に1回「なないろひろば」を実施した。子育てに悩みを持つ乳幼児親子の居場所として機能した。普段「遊びきった」という満足感を味わうことが難しい子どもたちだが、この時間は母子ともに充実感を味わっている。発達支援センター、保健師も含め、多くの職員が見守る中での活動に安心感も感じている。
小 計					9	57	0	0	89	210		

※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)